

CONTENTS

- P1 【特集】平成12年度定期総会報告
 P2 【特集】平成12年度事業計画、予算その他
 P3 【活動報告】ITS講演会開催報告
 P4 【活動報告】講演会報告、事務局からのお知らせ

NO.3

特集

札幌圏 ITS 推進フォーラム平成12年度定期総会報告

平成12年度定期総会報告(概要)

さる平成12年5月12日(金)ホテル札幌ガーデンパレスにおきまして、札幌圏ITS推進フォーラムの平成12年度定期総会が開催されました。

当日はあいにくの雨模様の天気にもかかわらず、71会員(委任15含む)の参加により総会は開始されました。

議事の進行に先立ち、山本会長からご挨拶を頂きました。山本会長は「昨年フォーラムが設立され、今春までにETCの試験運用開始が展開されるなど、ITSも模索から次の段階へ移ったように感じられる。地元には大きな製造業を持たない北海道がITSにどのように関わっていくか、場所やノウハウの提供も考えられるが、いずれにしてもITSの展開が変わったということ念頭において、今後のITSの取り組みを考えていく必要がある。」とのお言葉をいただきました。

続いて規約に則り山本会長を議長に選出し、議事が進められました。

第1号議案「平成11年度事業報告」について、事務局からの報告後、会員の了承の上、議案は可決されました。第2号議案「平成11年度会計報告」について、事務局からの報告後、監事を代表して竹内監事から監査報告があり、会員の了承の上、議案は可決されました。第3号議案「平成12年度役員および幹事」について、事務局からの説明後、会員の了承の上、議案は可決されました。第4号議案「規約の改定」について、事務局からの説明後、会員の了承の上、議案は可決されました。第5号議案「平成12年度事業計画(案)」について、事務局からの説明後、会員の了承の上、議案は可決されました。第6号議案「平成12年度予算(案)」について、事務局からの説明後、会員の了承の上、議案は可決されました。

以上で予定された議案はすべて終え、総会は終了しました。総会の運営にあたり会員の皆様に多大なるご協力をいただきましたことについて、事務局よりあらためてお礼申し上げます。(以上、報告：事務局 金村直俊)

定期総会

日時：平成12年5月12日(金)14時~14時30分
 場所：ホテル札幌ガーデンパレス白鳥の間
 (札幌市中央区北1条西6丁目)

平成12年度会員(平成12年5月12日現在)

法人会員：63会員
 個人会員：15会員
 特別会員：14会員



(上写真)総会で挨拶する山本会長

平成12年度役員構成(平成12年5月12日現在)

会長：山本 強〔北海道大学大学院工学研究科教授〕
 副会長：浅沼 勝利〔札幌市建設局長〕
 小長井 宣生
 〔北海道開発局開発土木研究所道路部長〕
 佐々木 晴美
 〔(社)北海道開発技術センター副会長〕
 監事：戸谷 有一〔北海道建設部道路計画課長〕
 小渡 敏彦
 〔(財)北海道道路管理技術センター常務理事〕
 竹内 政夫〔(財)日本気象協会北海道本部技師長〕

(以上、敬称略)

平成12年度幹事構成(平成12年5月12日現在)

幹事長：加治屋 安彦
 〔北海道開発局開発土木研究所道路部防災雪氷研究室長〕
 幹事：上谷 誠司〔北海道建設部道路計画課〕
 高松 康廣〔札幌市建設局道路維持部雪計画課〕
 安達 竹志〔札幌市建設局土木部道路課〕
 川口 守〔(財)北海道道路管理技術センター〕
 太田 祐司〔北海道開発コンサルタント株式会社〕
 正岡 久明〔株式会社シー・イー・サービス〕
 丹治 和博〔(財)日本気象協会北海道本部〕
 伊藤 信之〔(社)北海道開発技術センター〕
 金村 直俊〔札幌総合情報センター株式会社〕

(以上、敬称略)

平成11年度事業報告

1. 啓発・普及事業
 - 1) ITS 講演会開催：平成11年7月21日(水)
 - 2) ホームページの作成：平成11年7月22日から運用開始
2. 会員サービス事業
 - 1) 設立総会開催：平成11年4月27日(火)
 - 2) 会報発行(第1号：6月、第2号：12月)
 - 3) ITS 技術・取り組み発表会開催(計18回)
3. 調査・研究事業
 - 1) 豊田市 ITS モデル地区実験調査
平成11年10月22日(金)～23日(土)
 - 2) 寒地技術シンポジウム講演発表
平成11年11月17日(水)～19日(金)
 - 3) ITS フォーラム仙台講演発表：平成12年1月14日(金)
 - 4) ITS 懇談会開催(3回開催)
4. 協力・推進事業
 - 1) 土木の日協賛事業パネル展示
平成11年11月12日(金)～16日(火)

平成11年度会計報告

1. 収入(単位：円)

科目	金額	備考
1. 会費	1,338,000	
2. 雑収入	33,360	講演謝礼、預金利息等
合計	1,371,360	

2. 支出(単位：円)

科目	金額	備考
1. 事業費	562,230	
(1)啓発・普及事業	222,990	
(2)会員サービス事業	161,301	
(3)調査研究事業	167,492	ITS フォーラム出席他
(4)協力推進関連事業	10,447	土木の日協賛
2. 管理費	147,778	
3. 設立準備費	27,150	
合計	737,158	
残高	634,202	次年度繰り越し

規約の改定について

今後地域 ITS の推進のため、広く近隣市町村の行政機関や学術機関に参加を要請することを目的に、規約第2章第4条会員のうち(2)特別会員の規定を改定

(旧)

第2章第4条 会員
(2)特別会員 第2条の目的に賛同し、会長が特に認めたもの

(新)

第2章第4条 会員
(2)特別会員 第2条の目的に賛同し、本フォーラムへの参加が ITS の推進に有益であると会長が認めた公的機関および個人

平成12年度事業計画

1. 啓発・普及事業

講演会の開催：2回程度
 <テーマ>札幌を対象とした ITS ケーススタディ
 <テーマ>5省庁の ITS の取り組み など
 ホームページの運用
 フォーラム事業の紹介・報告および関連リンク集の充実
2. 会員サービス事業

総会の開催
 会報の作成および発行...年2回発行(6月、12月を予定)
 研究会などの開催
 <テーマ> ITS 懇談会の開催(月1回程度の予定)
3. 調査研究事業

寒地型 ITS の研究
 マルチメディアの活用による気象条件に応じた交通機関選択システム
 高齢者・障害者を対象とした情報提供実験システム など
 ITS 技術取り組み調査
 会員の ITS に関する技術や取り組み資料の電子化など
4. 協力推進事業

土木の日協賛事業
 関連講演会などへの後援
 公的機関が行う ITS 関連事業への協力

平成12年度予算

1. 収入(単位：円)

科目	金額	備考
1. 繰越金	634,202	
2. 会費	1,290,000	
3. 雑収入	1,000	預金利息等
合計	1,925,202	

2. 支出(単位：円)

科目	金額	備考
1. 事業費	1,360,000	
(1)啓発・普及事業	480,000	
(2)会員サービス事業	330,000	
(3)調査研究事業	500,000	
(4)協力推進関連事業	50,000	土木の日協賛他
2. 管理費	155,000	
3. 予備費	410,202	
合計	1,925,202	

ITS 講演会

平成 12 年 5 月 12 日(金) / ホテル札幌ガーデンパレス

さる 5 月 12 日(金)ホテル札幌ガーデンパレスにおきまして当フォーラム主催により講演会を開催しました。フォーラムの会員を含め 90 名の参加を頂きました。講演会の内容は以下の通りです。

日 時：平成 12 年 5 月 12 日(金) 14 時 40 分～16 時 20 分

場 所：ホテル札幌ガーデンパレス白鳥の間

演 題：「ITS モデル地区実験およびケーススタディ報告」

講 師：道路・交通・車両インテリジェント化推進協議会(VERTIS) 研究部 杉田昌弥 氏、植木徹夫 氏

まず杉田氏より ITS モデル地区実験についてお話がありました。

ITS モデル地区実験構想は平成 8 年 7 月に発表された「ITS 推進に関する全体構想」を受け、ITS の実用化・普及促進にあたっての技術的な実現可能性の向上および ITS 導入の環境作りのため、モデル地区実験という形でアプローチを行うとしたものです。

モデル地区実験構想は東京大学名誉教授の井口雅一氏を委員長としたフィージビリティスタディ(FS)委員会のもと、VERTIS が事務局となり調査研究が推進されてきました。FS への期待としては、地方行政と一体となった ITS 推進により ITS 推進に新たなインパクトを生み出す点、大都市の ITS から地方の ITS への拡大、研究段階の ITS から利用者の ITS・実用化段階の ITS への進展、類似課題を持つ地域への情報発信・共有化、民間企業の活性化・新たな産業の創出などがあります。



(上写真)講演を行う VERTIS 杉田氏

モデル地区実験構想は平成 9 年度に検討が開始され、平成 10 年度には全国地域に対して公募が行われました。その結果、後述する 5 地区が選定され、平成 11 年度に実験が実施されました。

平成 10 年度に選定された 5 地区とそのテーマを以下に示します。

豊田市(愛知県)

「ITS モデル地区実験・IN 豊田」

高知県

「KoCoRo(kochi communication road) - 地域からの ITS の提案」

警視庁(東京都内)

「東京都内都市部における公共車両優先システム(PTPS)の効果検証実験」

岐阜県

「民間活力を利用した岐阜県 ITS 関連情報提供システムの実現性検討」

「移動体通信による『資源循環型社会』の構築」

岡山県

「岡山県における ITS モデル地区実験 - 岡山情報ハイウェイを活用した岡山版 ITS の構築」

次に各地域の取り組みについて写真を交えながら紹介がありました。

まず豊田市では市内の渋滞緩和という問題に対し、道路利用の効率化や自動車利用の効率化といった観点から、道路交通情報システムの高度化実験、パーク&ライド(P&R)実験、EV 共同利用実験が行われたことが報告されました。

続いて高知県では、高齢化・過疎化・社会基盤の整備の遅れ・観光旅行者の増加・多発する自然災害といった問題に対し、地域交流リアルタイム監視、新たな地域産業の創造、地域住民の利便性・福祉の向上、高知新港の開港といった観点から、中四国近畿広域道路交通情報インターネット等提供事業、通信型(インターネット等)車載機実験事業、道の駅情報端末の整備事業、地域観光情報発信事業、デマンドバス等実験事業、総合物流/EDI、FAZ 事業が行われたことが報告されました。

警視庁ではバスの定時性を確保し、マイカーからバスへの転換により交通総量の抑制と環境に優しい社会への転換を図るため、前述の公共車両優先システムの効果検証実験が行われたことが報告されました。

岐阜県では、ITS 関連情報の有効利用や観光客および地域住民への情報提供、情報提供サービスの事業化検討という観点から新たな地域産業の創造を目的に、民間活力を利用した岐阜県 ITS 関連情報提供システムの実現性検討が、産業廃棄物処理施設の確保の困難化や産業廃棄物の不適正処理の増大といった問題に対して産業廃棄物の適正な管理を目指して、移動体通信による「資源循環型社会」の構築が実験されたことが報告されました。

最後に岡山県では岡山市・倉敷市等の慢性的渋滞や増大する観光客という問題に対し、道路利用者・一般県民の利便性向上といった観点からインターネットによる総合情報提供システムの構築、道路管理高度化システムの構築、公共交通機関の情報提供システムの構築が、総合物流施策の推進といった観点から商用車の運行管理支援が、リアルタイムで道路情報提供を行うことによる緊急車両への道路情報提供システムの構築が実施されたことが報告されました。

当日はこれらの実験の様相を収めたビデオの上映があり、発表とともにモデル地区実験に対する理解を深めることができました。

続いて平成 11 年度中実施された実験の評価について説明がありました。

評価は各地区の実験計画や欧米の事例調査の結果を踏まえ

実験システムごとに目的や狙いといった観点から評価項目が抽出され、体系化について検討が行われた結果、モデル地区実験における実験評価結果として、ITS が社会的に（地域レベルにおいては統一的に）実証評価され、これ自体が先進的かつ意義深かったこと、モデル実験での取り組みにより利用者および社会的便益・受容性の観点から効果が検証されたこと、システム整備により移動時間の短縮、定時性の確保、移動経費の削減といった便益が得られることや、利用者の利便性の向上、事業者の業務の効率化に資することが検証されたことが報告されました。

続いて植木氏より ITS ケーススタディについて報告がありました。



(上写真) 講演を行う VERTIS 植木氏

ケーススタディとは、上述した 5 地区でのモデル地区実験の検討結果を踏まえ、今後実際に地域へ展開していくにあたっての手順を整理・明確化するための目的で行われ、5 地区とは異なる地域特性を有する地域での展開やこれらの地区では対象としていないシステムの検討・整理を行うために、地域特性や大規模イベントの有無などといった視点から札幌市が選定されました。

札幌市は北国特有の雪に関する都市問題や交通基盤整備の積極的推進、2002 年における国際冬期道路会議の開催やサッカーワールドカップ、障害者インターナショナル世界会議といったイベントの開催を背景とし、少子高齢化やサービス業中心の産業構造などといった都市の現況と課題、冬期の降積雪による交通渋滞、バス利用者の減少、地下鉄網の発達といった交通の現況と課題から、次の 2 つの実験が提案されました。

マルチメディアの活用による気象条件に応じた交通機関選択システム
 高齢者・障害者等を対象とした情報提供実験システム

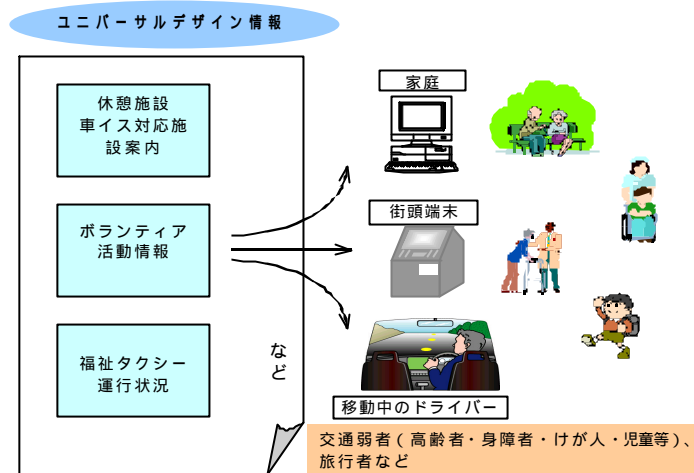
これらのシステムにより期待される効果として、積雪寒冷地特有の地域特性に起因する交通問題等の解決、ITS サービスの実現による質の高い市民生活の実現などが報告されました。

マルチメディアの活用による～交通機関選択システムは、渋滞やそれらの予測情報、路面凍結やそれらの予測情報、気象情報、公共交通運行状況情報、公共交通混雑状況情報、乗り換え案内状況、駐車場満空情報およびそれらの予測情報を家庭、事業者、移動中のドライバーなどに提供することにより、利用者の交通行動の決定を支援することが目的とされています。

このシステムにより、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、

機会損失（損失時間）の減少、交通需要の適正化が期待されます。

高齢者・障害者等を対象とした情報提供実験システムは、インターネットなどを通じて車椅子対応設備情報、ボランティア活動情報、福祉タクシー運行状況情報などの情報を高齢者・障害者（の介護者）などに提供し、外出行動の支援を行うことが目的とされています（下イメージ図）。



このシステムにより期待される効果としては、高齢者・障害者等も生活しやすい街づくりや市民などのユニバーサルデザインに関わる意識の向上、高齢旅行者の増加などが報告されました。

最後にまとめとして、ITS 地域展開のために今後もモデル地区実験のような取り組みが必要であること、インフラ高度化のための研究開発と整備、ITS アプリケーション技術の研究開発が重要であること、先進的なテーマの展開が望まれることが述べられ、講演が終了しました。

その後、聴講者から今回の報告や今後の ITS の展開について活発な質疑が交わされ、有意義な講演会となりました。

(以上、報告：事務局 金村直俊)

事務局よりお知らせ

会報第 4 号は平成 12 年 12 月発行予定です。
 年会費納入のお願い

年会費をまだお納めになっていない方はお早めにお納め願います。なお振り込み手数料は各自でご負担願います。
 (振込先) 北洋銀行札幌市役所支店

(普)3135872 札幌圏 ITS 推進フォーラム

編集・発行 / 札幌圏 ITS 推進フォーラム (Sapporo ITS Forum)
<http://www.sapporo-its.gr.jp/>

事務局 / 〒060-0001
 札幌市中央区北 1 条西 3 丁目 MN ビル 10 階 札幌総合情報センター(株)内

TEL 011(232)4848 FAX 011(232)0048

E-mail info@sapporo-its.gr.jp

事務局長：青山 彰、事務局員：金村 直俊、安藤 浩司